

湖山西の防災フェアと

防災対策について

総括担当実行委員

綾木 隆

一、防災フェア

今年の防災フェアは、盆があけても一層暑い、八月十九日(日)の早朝から半日をかけて行われました。

まず、鳥取市北西部で地震が発生し、湖山町内においても地震の余震が続いて家屋が倒壊し、火災も延焼中との想定のもとで、避難訓練を行いました。各町内会は、湖山西災害対策本部からの指示によって、地区体育館に避難して集合整列しました。

引き続き行われた開会式の中で、「避難訓練の重要性」の話聞き、日常の訓練の大切さを確認しました。

次に、湖山消防署・消



防団の指導のもとでAED操作訓練やはしご車・消防車の乗車体験、更に消火器による消火訓練を行いました。

AEDの操作訓練では、参加者が直接AEDに触れながら真剣に訓練を行っていました。



また、非常時を想定した炊き出し訓練では、おにぎり・ぶた汁が手際よく用意されて、中庭で参加者全員が試食しました。炊き出しの燃料についても、あえてマキやプロパンガスを用いて災害時並の実践的な訓練を行いました。

来年の課題としては、開催日時・避難訓練の広報・AEDなど各種訓練の時間配分等を再検討する必要があると考えています。

参加者の皆様には、暑い中大変ご苦労様でした。二、災害対策

あの東日本大震災を教訓に、国でも各自治体でも『防災』から『減災』へと考えが変わり、地道な対策や訓練の積み重ねこそが『減災』につながるというわれています。

湖山西地区でも地区防災計画を策定して、大規模災害(地震・風水害・火災等)の発生時の対応についての情報連絡・災害対策などを記載し徹底しているところです。

先般実施した防災フェアの避難訓練・炊き出し訓練などもこの防災計画に基づく災害対策本部の統制のもとで実施したものです。

また、防災対策の一つとして防災マップを作成して全世帯に配布しましたので、各町内の避難場所、海抜などを各自で再度確認していただきたいと思えます。

阪神・淡路大震災時、家屋の倒壊による下敷きや閉じ込められた人々の救出救護では、家族や地域住民によるものが多く、地域における日頃からの自主的な防災活動の大切さが言われています。

東日本大震災では、津波に対する日頃からの備えがしきりに強調されていますが、津波や地震に対してはまず避難場所・避難方法の確認が大切です。各町内の自主防災会が行う避難訓練や防災訓練には、皆さんの積極的な参加を願っています。



防災フェアに参加して

炊き出し訓練責任者

今井久仁子



八月十九日(日)、湖山西まちづくり協議会と地区自主防災会主催による防災フェアが開催され、炊き出し訓練担当として「食生活改善推進員」・「更正保護女性会」・「老人クラブ連合会」・

「民生児童委員会」及び「地区防災会」より二十四名が選任され、その責任者として参加することになりました。

炊き出しは、おにぎり・ぶた汁・お茶を二百五十人分準備する計画で進められました。中でも、薪による炊飯が心配でしたが、老人クラブのメンバーが中心となって上手に炊き上げ、とても美味しいおにぎりができました。『もう一釜と』挑戦！かためでしたがこれまた美味しく炊けました。ぶた汁も具たくさん、時間を早め十時三十分には参加者にふるまいました。

皆さまから美味しいとお言葉をいただき、スタッフ一同ホッと胸をなでおろしました。

防災訓練には、多くの方々に参加していただき、災害発生時に地域住民が協力し助け合える態勢づくりができれば良いと思いました。

平成二十四年度

『地域づくり懇談会』開催報告

さる、八月三十日(木)午後七時から、湖山西地区公民館(多目的研修室)において、鳥取市側から鳥取市長をはじめ幹部・事務局の方々十六名。地元からは、まちづくり協議会の大久保会長ほか役員及び構成員など六十名が出席して地域づくり懇談会が開催されました。

懇談会は、地元代表のあいさつに次いで、竹内市長のあいさつの後、鳥取市政の重要課題『地域防災計画の見直し』について報告がありました。

引き続き、湖山西まちづくり協議会の星見事務局長が『湖山西のまちづくりの現状や課題』についてパワーポイントを使用して報告しました。

ついで、事前に地元から提出していた二つの地域課題に対する市側の回答が行われました。

地域課題

一、湖山池北岸(クラーク高校から鳥大ボート艇庫間)のインフラ等の整備について



- ①湖岸市道の西側行き詰まりを鳥取医療センター侵入路に接続する。
- ②南五丁目「大学前町内会」地内の市道側溝を整備して道幅を拡幅する。
- ③永年の懸案事項である湖岸周回道路の早期開通

④ボート艇庫のトイレを公共下水道敷設による水洗化の取り組みの現状

⑤市道への街路灯の設置

二、生活道路及び側溝の整備について

湖山町西二丁目

から三丁目にかかる農道及び水路の維持管理を直接市側が実施できるように地権者との対応をお願いしたい。

市側からの回答を巡り種々意見を交わし、回答内容に沿って詰めが必要な事項についてはさらに話し合うこととなった。

所定の時間が迫る中、フリートークに移り、出席者から次のような意見提起がありました。

①湖山町西一〜三丁目地内の公共下水道サービース開始時期の見直し

②養鶏施設(レークファーム)からの悪臭対策の現状

③湖山西小学校プールの、泳ぐ目印となる白線が消えていて、正しい泳ぎができない。

これらの意見については、それぞれに必要な対応をする旨の回答がありました。

以上のような意見交換を経て、午後八時四十五分頃終了しました。

